

HIRANO TECSEED Co.,Ltd.

第90期 株主通信

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

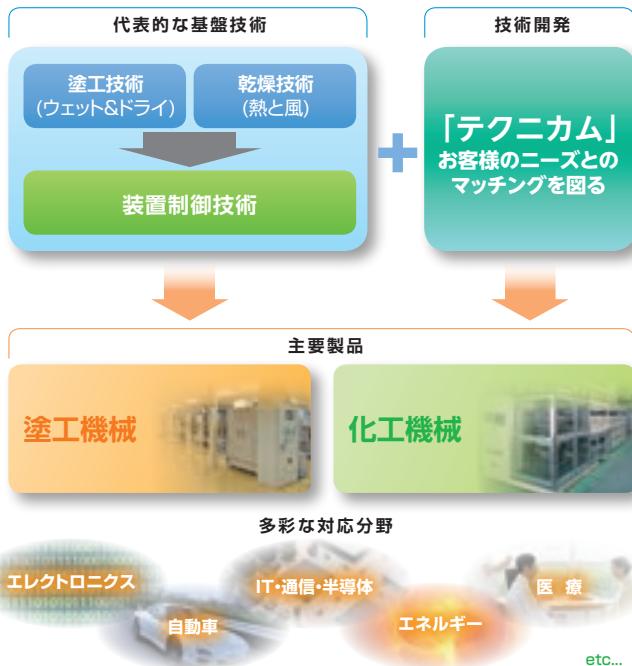
| 証券コード | 6245 |



株式会社 ヒラノテクシード

株主の皆さまへ

「塗工」「乾燥」「制御」の技術を融合させ、幅広い産業に欠かせない製造装置をお届けしています。



連結業績ハイライト

売上高



「Wet & Dry」のコーティング一層の向上をめざします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の推し進める経済対策や日銀による異次元の金融緩和等により長引く円高が是正され、株価も緩やかな上昇を迎えました。それらを背景として、個人消費が持ち直し小売業を中心に企業業績が改善し好調に推移するなど、景気に明るい兆しが見えました。

また、海外において、欧州経済は持ち直し、米国では企業業績が好調に推移し雇用情勢も改善され拡大傾向で推移しました。

その一方アジアでは新興国経済は中国において景気が減速し経済成長が鈍化傾向にあり、設備投資過剰も懸念され先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に価値ある技術を創出し続け、高度な技術ニーズにも対応すべく徹底した品質の管理を推し進め、コスト・技術・ものづくりにおける改革をスピードアップし、日々変化する市場に向けて積極的に展開してまいりました。

特に、ウェット&ドライ両方のコーティング技術を併せ持つ当社グループの強みを活かし、光学フィルムや電気電子部材を中心に拡販に努めてまいりました。

その結果、売上高は28,504百万円(前期比81.2%増)となり、利益面では経常利益3,647百万円(前期比193.5%増)、当期純利益は2,117百万円(前期比174.3%増)となりました。

経常利益



「装置」で世界トップクラスの企業として、企業価値の

今後の見通しにつきましては、国内の景気は各種経済対策の効果に加えて、緩やかに回復してきた企業業績や個人消費に支えられ明るい兆しが見えると思われまます。また海外において欧米では引き続き景気回復傾向が堅調に推移すると思われる一方、アジアの新興国経済は中国における成長鈍化傾向が依然懸念されます。

当社グループは、グループ間の連携を強化し世界唯一のウェット&ドライの特徴を活かした独自の技術を向上させるべく、新技術の開発に注力し次世代商品の開発・新たな市場の開拓に努めてまいります。

当業界の設備投資におきましては、維持や補修等を目的とした投資が牽引するものの増産を目的とした新規投資は低調に推移しており、本格的な回復基調には至らず厳しい状況にあります。また、前期において受注が活況であった真空薄膜装置も新規投資が落ち着きを見せるなどの要因で、売上高、利益ともに当期に比べ大きく減少することが予想されます。

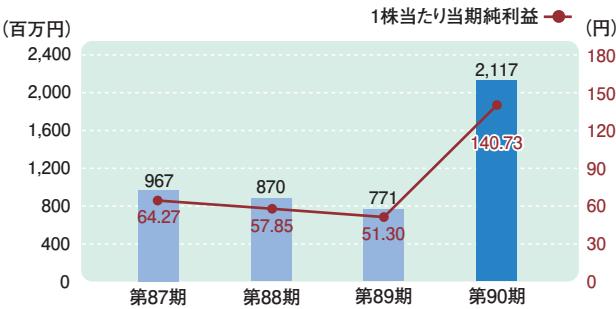
その結果、現段階では、次期連結売上高は15,500百万円、連結経常利益は500百万円、連結当期純利益は340百万円を見込んでおります。



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。
さて、第90期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の決算を終了いたしましたので、その概況につきましてご報告申しあげます。
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。
平成26年6月

取締役社長
松葉 茂美

当期純利益 / 1株当たり当期純利益



自己資本 / ROE

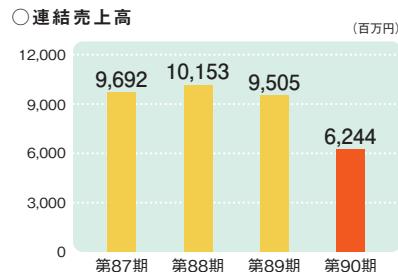


塗工機 関連機器

各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



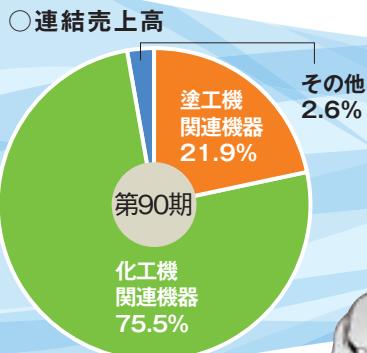
塗工機



対象基材

光学機能性フィルム
リチウムイオン電池電極
タッチパネル用ハードコートフィルム
光学用粘着(OCA)テープ
FPC用電磁波シールド材
医療用 経皮吸収体 など

セグメント別 構成比



化工機 関連機器

各種成膜装置、不織布・高性能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



薄膜成型装置



対象基材

ポリイミドフィルム
ポリカーボネートフィルム
チップオンフィルム
セラミックシート
不織布
炭素繊維
タッチパネル用ITOフィルム など

ヒラノグループ会社探訪



ヒラノ光音株式会社

HIRANO KOH-ON Co.,Ltd

最先端技術を支える薄膜テクノロジー

当社グループの連結子会社であるヒラノ光音株式会社は真空技術・成膜技術・走行技術の3つのコア技術を融合した『走行式真空成膜装置』の設計・製造をしております。この装置は、タッチパネル・有機EL・太陽電池などに用いられる最先端の薄膜高能材料を創り出しております。



充実したテスト環境

新たな市場、顧客ニーズに先駆けた技術開発、提案のために、自社クリーンルーム内にテスト装置を保有しております。自社の技術開発だけでなく、お客様の技術開発への貢献により、受注へ繋げる第一歩を担い、様々なご要望にお応えします。



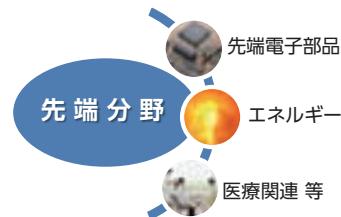
縦型RTRスパッタ装置



Wet & Dry 成膜装置

新しい事への挑戦！

先端分野に向けた新装置開発にもチャレンジしております。ヒラノ光音の今後にご期待ください！



本社工場新設・移転！

2014年3月に新本社工場が完成し、大阪市平野区からヒラノテック敷地内に全面移転を完了いたしました。

ヒラノテックシードのWetコーティング技術とヒラノ光音のDryコーティング（真空成膜）技術の融合を図った、世界でも類を見ない『Wet&Dry』商品開発の先進性に今後ご注目ください。



取締役社長	桑原 茂
所在地	奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1
資本金	3,000万円
事業内容	走行式スパッタ・CVD装置、各種真空装置の設計・製造・販売

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第89期	第90期
	(平成25年3月31日現在)	(平成26年3月31日現在)
資産の部	32,009	29,313
流動資産	26,503	23,051
固定資産	5,506	6,261
有形固定資産	3,132	3,687
無形固定資産	170	151
投資その他の資産	2,203	2,422
資産合計	32,009	29,313
負債の部	14,041	9,618
流動負債	12,841	8,206
固定負債	1,200	1,412
純資産の部	17,967	19,694
株主資本	17,683	19,514
資本金	1,847	1,847
資本剰余金	1,339	1,339
利益剰余金	14,902	16,733
自己株式	△ 406	△ 407
その他の包括利益累計額	284	180
その他有価証券評価差額金	284	313
退職給付に係る調整累計額	—	△ 132
負債純資産合計	32,009	29,313

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第89期	第90期
	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)	(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,240	3,716
投資活動によるキャッシュ・フロー	526	△ 343
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 366	△ 54
現金及び現金同等物の増加額	2,400	3,318
現金及び現金同等物の期首残高	7,815	10,215
現金及び現金同等物の期末残高	10,215	13,533

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第89期	第90期
	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)	(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
売上高	15,732	28,504
売上原価	12,938	23,271
売上総利益	2,794	5,233
販売費及び一般管理費	1,624	1,665
営業利益	1,169	3,568
営業外収益	99	105
営業外費用	26	26
経常利益	1,242	3,647
特別利益	—	50
特別損失	0	—
税金等調整前当期純利益	1,242	3,697
法人税・住民税及び事業税	466	1,536
法人税等調整額	3	43
少数株主損益調整前当期純利益	771	2,117
当期純利益	771	2,117

配当のお知らせ

当期の利益配当金につきましては、1株当たり普通配当金13円とヒラノ光音株式会社本社工場移転・竣工記念配当4円を加え17円（中間配当金13円と合わせて、年間配当金は1株当たり30円）とさせていただきます。

会社の概要

(平成26年3月31日現在)

社名	 株式会社 ヒラノテクシード
英文社名	HIRANO TECSEED Co.,Ltd.
創業	昭和10年6月1日
設立	昭和24年7月25日
資本金	1,847,821,888円
従業員数	227名
事業所 本社	〒636-0051 奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1 電話 (0745) 57-0681
東京支店	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 (千城ビル9F) 電話 (03) 3242-5441

役員

取締役会長 (代表取締役)	三浦日出男
取締役社長 (代表取締役)	松葉茂美
常務取締役	定安一男
取締役	安居宗則
取締役	金子二雄
常勤監査役	逸崎正
監査役	高谷和光
監査役	田中寛治郎

(注) 監査役高谷和光氏並びに田中寛治郎氏は、社外監査役であります。

子会社

ヒラノ技研工業株式会社 (産業用機械器具製造)
株式会社ヒラノエンテック (繊維機械等部品製造)
ヒラノ光音株式会社 (真空装置等製造)

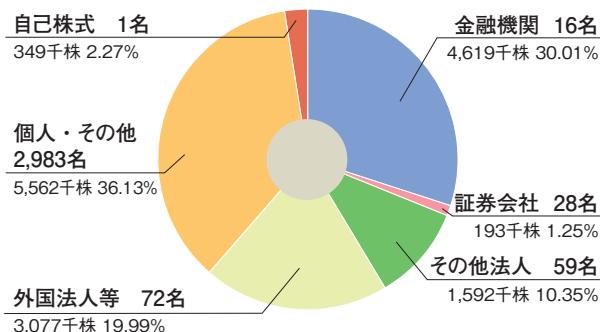
株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	15,394,379株
株主数	3,159名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
明治安田生命保険相互会社	1,450	9.64
ヒラノ会	1,325	8.81
オーエム04エスエスピークライアントオムニバス	863	5.74
伊藤忠商事株式会社	850	5.65
株式会社三菱東京UFJ銀行	737	4.90
株式会社りそな銀行	731	4.86
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リエヌティーメルオーストラリアントリー レンディングクライアントアカウント	379	2.52
株式会社みずほ銀行	300	1.99
株式会社南都銀行	300	1.99
ザバンクオブニューヨークノントリー ジャスデックアカウント	282	1.88

(注) 1. 上記の他、自己株式数349,728株を保有しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話（通話料無料）：0120-094-777
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	6245
公告掲載方法	大阪市において発行する日本経済新聞

※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話（通話料無料）：0120-232-711（証券代行部）

0120-094-777（大阪証券代行部）

インターネットホームページ：<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ヒラノテックシード ホームページ

<http://www.hirano-tec.co.jp/>

ホームページで当社の事業活動、商品の案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧ください。ぜひご活用ください。



この冊子は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。